

平成 18 年度 第 7 回 日本都市計画学会九州支部幹事会議事録

1. 日 時：2007 年 3 月 16 日（金） 16:00～18:00
2. 場 所：東京第一ホテル会議室
3. 出席者：井上、黒瀬、中村、寺町、松永、玉田、辰巳、日暮、外井、梶田、堤、天本、内田、百田、原口（計画協会）

4. 議 事：

1. 前回議事録確認
2. 理事会報告
3. 支部ニュース、支部だより報告
4. 次年度研究分科会審査結果報
5. 支部長賞審査結果報告
6. 総会について
7. 次期体制等について
8. 幹事会・事務局役割分担について
9. その他
10. 今後のスケジュール

5. 議事内容

(1) 前回議事録確認（中村）

- ・添付議事録に基づき、前回の会議内容を確認した。

(2) 支部ニュース、支部だより報告（梶田）

1) 支部ニュース

- ・梶田幹事より、支部ニュースの作成状況についての説明があった。既に原稿は作成済みであり、総会案内とあわせて 4 月上旬に発送予定である。

2) 支部だより

- ・支部だよりの作成状況についての経過報告があった。

(3) 理事会報告（井上）

- ・3 月 6 日（金）開催の本部理事会の報告が行われた。

1) 議決事項

① 会員入退会

- ・5,257 名（名誉 34、正 4,722、学生 225、賛助 276）
- ・対前年同期で△92 名→減少幅は縮小（過去 2 年 △106→△99）

② 研究委託

- ・2 件の受託を承認
 - ※海外におけるまちづくり事業手法の資料作成業務（150 万円）
 - ※商業開発から住宅へ：市民が担うディベロッパーの新展開検討業務（303 万円）
- ・累計：10 件 5,850 万円（02 年度並み）

2) 報告協議事項

① 学会全体

- ・ 総会：
 - ・ 支部新理事（4/20 理事会で支部から報告）
 - ・ 予算一次案→社会連携活動の助成金（50 万円）
注）九州支部は今期の予算残が 80 万円あり、この 50 万円とあわせて 130 万円が新年度の予算となる。
 - ・ 各支部が社会連携活動の報告資料提出
 - ・ 総会後のシンポジウム→各支部代表 1 名をパネリストとして実施する新企画を予定（現在、九州支部より派遣するパネリストを検討中）
テーマ：人口減少社会における都市計画のあり方と日本都市計画学会の役割
 - ・ 設計競技の提案
 - ・ 若手会員の増加、学会の活性化を目指しコンペを実施する
 - ・ 07 年度に準備委員会で検討
 - ・ 08 年度にコンペ実施
- 横浜市米軍基地返還予定地：深谷通信所（77ha）

② 常置委員会

（総務企画委員会）

- ・ 社会連携行事：市長と語る 21 世紀の都市計画（200 名強の出席で実施：2 月 20 日）

（編集委員会）

- ・ 266 号（4 月）：まちのロジスティクスを読む
- ・ 267 号（8 月）：地震災害を乗り越え備える都市づくり・地域づくり
- ・ 268 号（10 月）：プランナーの現在と未来（案）
- ・ 269 号（12 月）：緑の都市計画（案）
- ・ 269 号又は 270 号は希望があれば支部特集号とできる。（申し込みは早めにしてほしい）

（学術委員会）

- ・ 2007 年度発表会：工学院大学新宿キャンパス 11 月 17, 18 日（土、日）
- ・ 2008 年度発表会：北海道支部の設立と合わせた大会（予定）

（事業委員会）

（国際委員会）

- ・ シンポ 2007：横浜市で 8 月 16 日（木）～18（土）
登録論文集：57 編

（表彰委員会）

- ・ 功績賞の推薦 0（過去に例無し）→次年度候補者リストの作成を検討する予定

③ 支部報告

- ・ 各支部からの報告

（4）次年度研究分科会審査結果報告

- ・ 外井審査委員長より審査経過及び結果について報告があった
次の 2 つの研究分科会を支援することを決定した。
 - A タイプ：知的創発拠点形成システム研究分科会
 - B タイプ：観光と景観研究会

(5) 支部長賞審査結果報告

- ・梶田幹事より、支部長賞の選考経過及び結果の報告があった。
- ・一部大学で賞状が卒業式に間に合わなかった状況が発生したが、それ以外は卒業式に本人手渡しが行われる予定である。

(6) 総会について（中村）

- ・4月27日開催予定の支部総会の概要（場所、プログラム、議事次第、特別講演会等）が報告された。
- ・役員交替の時期であり、新支部長挨拶等も議事次第に組み入れることとした。
- ・今後、新執行部と協議の上、総会資料を作成することとした。
- ・4月上旬に総会案内、委任状等を送付する。その際、本部総会への委任状提出の要請も同時に行うことを確認した。

(7) 次期体制等について

- ・黒瀬副支部長より、次期体制案の概要が報告された。
 - 支部長：黒瀬（福大）
 - 幹事長：出口（九大）
 - 事務担当：趙（九大）
- ・幹事は新しい人も含めて現在人選中
- ・韓国普州（ムン先生）との交流も検討中
 - ・3/29～31に黒瀬先生が訪問し調整を行う
 - ・平成20年1月に国際シンポを両者で開催予定

(8) 幹事会、事務局役割分担について

- ・井上支部長より、幹事会と事務局（九州地方計画協会）との役割分担案について報告がなされた。今後、現事務局と調整の上、役割分担を明確にし、次期体制に引き継ぐこととした。
- ・分担の基本は以下のとおり
 - ・業務の主要部分は幹事会が担当
 - ・会計、会議場所提供、連絡窓口を協会が担当

(9) その他

- ・内田幹事より4月24日開催予定のシンポジウムについての案内、報告があった
 - 「まちづくり三法改正後の都市戦略ーサステナブルな都市づくりに向けてー」
 - ・4月24日（火）PM2:00～5:00
 - ・アジア太平洋インポートマート（北九州市小倉北区）
 - ・福岡県より、県内及び九州各県の自治体に既に案内を出している
- ・井上支部長より、今後、本部との連携も視野に入れた支部活動の展開を検討していくことが必要であるとの提案があった
 - （例）本部会長を招聘してのシンポ等学会を身近なものとする工夫

(10) 今後のスケジュール

- ・現執行部、新執行部及び地方計画協会の事務打合せを4月上旬に実施
- ・4月27日総会前に幹事会実施